

ID

氏名

年齢

科名病棟

PEM+CDDP療法
(short hydration)

3 週毎 6 コース予定

疾患名 悪性胸膜中皮腫

主治医 指導医
スケジュール

HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()

		day1
ペメトレキセド	500 mg/m ²	↓
シスプラチン	75 mg/m ²	↓

- 【注意】 * 一日の尿量が3000 mL以上になるように調整すること
- * シスプラチンは遮光のこと
- * 治療前日から翌々日まで通常の飲水に加えて、経口補水液500 mLを1日2本飲水すること
- * ペメトレキセド投与の7日以上前よりパンビタン末を1g 分1で内服開始^(注1)
- * ペメトレキセド投与の7日以上前より

メチコバル注500 μg 2A(1mg)を筋注(以後9週間毎)^(注2)

注1: 投与中止または終了する場合には、最終投与日から22日目まで可能な限り投与する

注2: 投与期間中及び投与中止後22日目まで9週ごと(3コースごと)に1回投与する

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

Day 1

- ① 生食 500 mLで血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② 生食 500 mL + L-アスパラギン酸K 10 mEq + 硫酸Mg補正液 4 mEq
点滴静注60分(500 mL/時間)
- ③ アロカリス 235 mg + パロノセトロン 0.75 mg + デキサメタゾン 9.9 mg + 生食 100 mL
点滴静注30分(200 mL/時間)

◎ メインの生食でフラッシュ

- ④ ペメトレキセド + 生食 100 mL + 点滴静注10分(600 mL/時間)

◎ メインの生食でフラッシュ

⑤ 20%マンニトール 200 mL

点滴静注30分(400 mL/時間)

⑥ シスプラチン + 生食 300 mL

点滴静注120分(240 mL/時間)

*生食 200 mLをバッグから前もって抜いておく

⑦ 生食 500 mL + L-アスパラギン酸K 10 mEq + 硫酸Mg補正液 4 mEq

点滴静注60分(500 mL/時間)

Day 2-4 デキサメタゾン錠 8 mg 2×朝昼 内服

	1 コース	2 コース	3 コース	4 コース	5 コース	6 コース
月 日	/	/	/	/	/	/
ペトレキセド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
シスプラチン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認						